

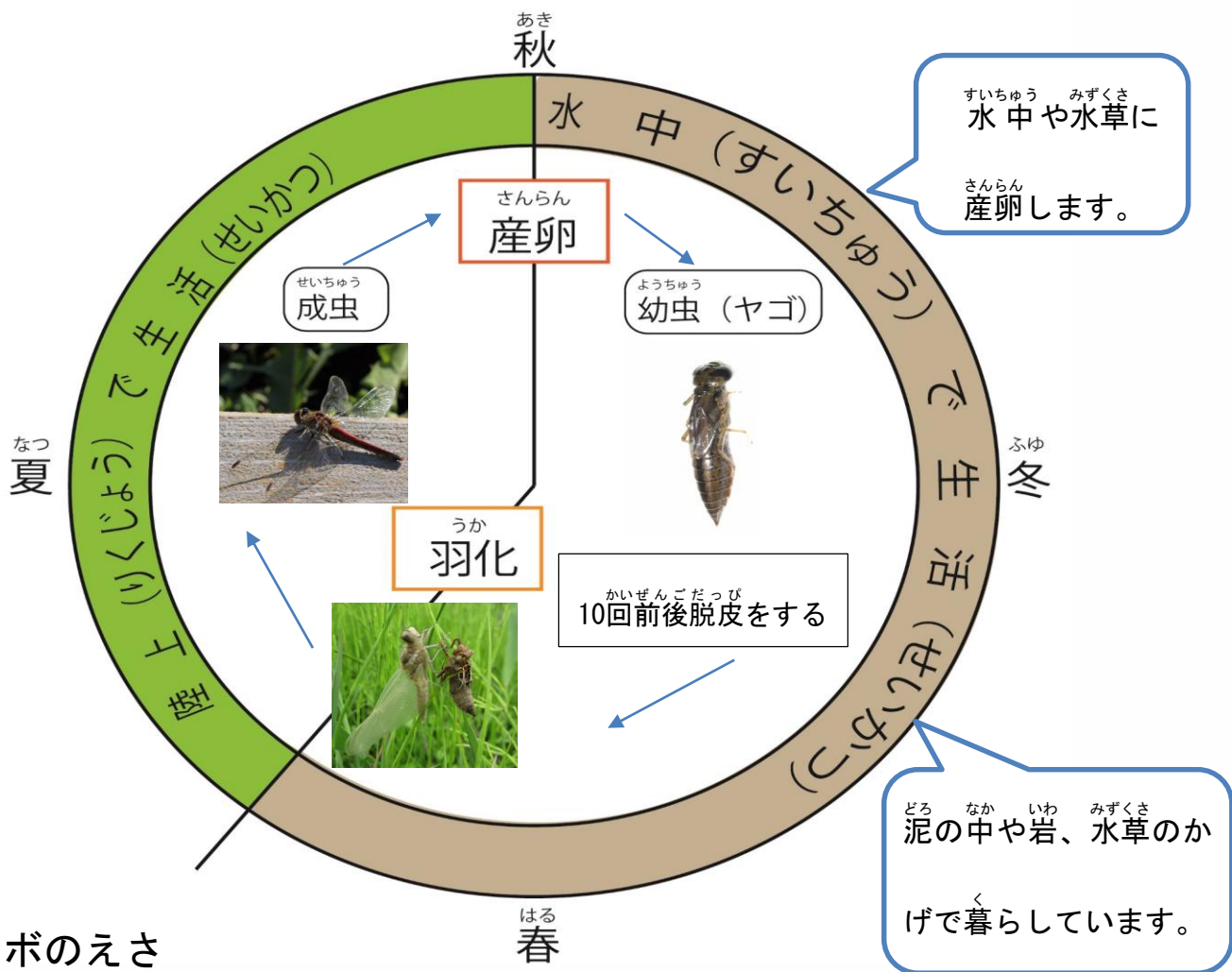


いろいろなトンボを探してみよう！

夏から秋にかけて、色々な種類のトンボを観察することができます。

世界には約5,000種類、日本には約200種類が生息しています。身近な環境にはどんなトンボがいるのか探してみましよう！

また、トンボは一生のうち、脱皮や羽化などを通し、体の形をかえて成長していきます。まずはトンボの一生について紹介します。



● トンボのえさ

トンボは肉食で、ヤゴはユスリカの幼虫や小さな水生昆虫などを食べます。ヤンマなど大型トンボのヤゴは小魚やオタマジャクシを食べることもあります。成虫はカやハエ、チョウなど小さな昆虫を食べます。



にほん み しゅるい
日本でよく見られるトンボの種類

●イトトンボのなかま

からだ ほそなが まい はね おお
体が細長く、4枚の翅の大きさがほぼ同じ。



●ヤンマのなかま

はね ひら と はや
翅を開いたまま止まる。速いスピードで飛ぶ。



●アカネのなかま

アキアカネなど、なじみのある種類。前と後ろの翅の幅が違う。



こうし ひろ
(後翅が広い)

※トンボの寿命

アキアカネやシオカラトンボなどは成虫になってからの寿命は1か月ほどといわれています。トンボの中には成虫で越冬するため10か月ほど成虫で生きる種類や、オニヤンマなど、ヤゴで5年ほど過ごす種類もあります。

